あなたの避難行動を考えましょう

自宅の状況(住んでいる場所など)によって避難行動が変わる

浸水想定区域内

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食内にある／氾濫流内にある／1階建て／2階建て／3階建て

浸水想定区域外

警戒レベル 1
- 台風がやってくる5日前～前日

テレビやラジオで気象情報を確認する。
自宅や庭の整理や飛散防止、屋根の補修をしておく。
非常持出袋の準備や家族同士で連絡体制の確認をしておく。

警戒レベル 2
- 台風がやってくる当日

警戒レベル 3
- 大雨・洪水警報の発表
- 高齢者等避難

いつでも避難ができるように準備する。
高齢者などの避難に時間がかかる方は避難を開始。

警戒レベル 4
- 避難指示

木造／木造以外

立ち退き避難(垂直避難不可)

立ち退き避難 ただし、木造以外であれば垂直避難可

立ち退き避難が望ましいが、階数によっては垂直避難も可。
〈浸水深〉
0.5m未満 →自宅待機も可
0.5m～3.0m →2階以上へ垂直避難
3.0m～5.0m →3階以上へ垂直避難

外出を控え、側溝から水が溢れるなどの場合には2階以上へ緊急避難

避難指示の発令により安全な場所への避難行動を完了する。ただし、既に氾濫が始まっているなど、立ち退き避難がかえって危険な場合には2階以上へ垂直避難する等の命を守るための最善の行動をとる。

警戒レベル 5
- 氾濫発生

警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

防災メモ

避難する時にまず持ち出すもの

非常持出品チェックリスト

項　目	確認	備考
非常食	□	
飲料水	□	
携帯ラジオ	□	
懐中電灯	□	
ヘルメット(防災ずきん)	□	
ティッシュ	□	
タオル	□	
ビニール袋	□	
上着、下着	□	
軍手	□	
救急医薬品(キズ薬、絆創膏、かぜ薬など)	□	
常備薬(お薬手帳のコピー)	□	
貴重品(現金、預貯金通帳のコピー)	□	
健康保険証のコピー	□	
マスク	□	
手指消毒用アルコール	□	
体温計	□	

ポイント
- 背負って走れるよう、重量10kg以下にし、リュックなどに入れておきましょう。
- 家を出る時は、鍵を閉め、ブレーカーを切り、ガスの元栓をしめて避難しましょう。
- 避難直前に非常持出品を準備することは避け、避難行動を優先しましょう。

上記はほんの一例です。
また、家族構成によって必要な物が変わってきます。

例えば 乳幼児のいる家庭では?
ミルク、ほ乳瓶、離乳食、スプーン、ストロー、おむつ、洗浄綿など

災害が一旦落ちついた後、自宅や避難所で使用するもの

非常備蓄品チェックリスト

項　目	確認	備考
食料(最低3日分)	□	
水(1人1日3リットルが目安)	□	
卓上コンロと燃料	□	
洗面用具	□	
鍋、やかん	□	
簡易食器(割りばし、紙皿など)	□	
食品用ラップフィルム、アルミホイル	□	
新聞紙、レジ袋	□	
生理用品　など	□	